

# 千姫 (1954)

メディア 映画  
ジャンル 時代劇  
製作国 日本  
色彩 Color  
時間 95分  
初公開日 1954/10/20

## 【解説】

八尋不二の脚本を木村恵吾が監督した時代劇大作。京マチ子が戦国時代の悲劇のヒロインの千姫を演じた。色彩技術が高い評価を得た大映はこの作品以降、イーストマン・カラーを「大映カラー」と称した。

大阪夏の陣で豊臣家は滅びたが、秀頼の妻である千姫だけは奇跡的に生き残ることができた。千姫を救った坂崎出羽守は彼女を手に入れようとしていたが、千姫はこれを拒否。千姫の祖父である徳川家康は出羽守に領地を与え、千姫を本多平八郎に嫁がせることにした。千姫の輿入れの行列に斬り込もうとして失敗した出羽守は、自らの槍で自決。千姫は平八郎との婚礼を迎えようとするが、平八郎が病気で亡くなってしまった。千姫は吉田御殿に美しい小姓たちを置き、毎日遊興の限りを尽くすようになってしまう。

## 【クレジット】

監督 木村恵吾  
製作 永田雅一  
脚本 八尋不二  
撮影 杉山公平  
音楽 早坂文雄  
出演 京マチ子  
菅原謙二  
市川雷蔵  
三田隆  
山形勲  
進藤英太郎  
伊志井寛  
峰幸子  
東山千栄子  
大河内伝次郎  
南條新太郎  
杉山昌三九  
石黒達也  
花柳武治  
小町瑠美子  
毛利菊枝  
尾上栄五郎